

## 新潟大学第7回英語教育改革FDのご案内

このたび、新潟大学英語教育企画部では、「ネットワーク型英語学習教材を活用した新たな自律的課外学習支援および高等学校新学習指導要領のポイントについて」と題しまして、FD (Faculty Development)を開催いたしますのでご案内申し上げます。

来年度から学生の自律的課外学習の一環としまして、ネットワーク型英語学習教材3コース(TOEIC2000, Power Words, 英文法)を追加導入いたします。本FDでは、3コースにつきまして、開発元である株式会社アルク教育社ご担当者からご説明とデモンストレーションをいただき、質疑応答や意見交換を通してまして、新たな自律的課外学習支援内容の理解を深めたいと思います。あわせて、来年度から実施されます高等学校新学習指導要領のポイントについて概観し、大学英語教育に必要な情報を共有する機会にしたいと思います。

つきましては、ご多用のところを誠に恐縮でございますが、全学英語ご担当の先生方におかれましては奮ってご参加をお願い申し上げます。

### 記

**題 目:**「ネットワーク型英語学習教材を活用した新たな自律的課外学習支援および高等学校新学習指導要領のポイントについて」

**日 時:** 平成25年3月13日(水) 午前10時00分から(90分ほど)

**場 所:** 新潟大学総合教育研究棟 B351 講義室 (B棟3階)

**内 容:**

- (1)「ネットワーク型英語学習教材を活用した新たな自律的課外学習支援」  
樋口まき様(株式会社アルク教育社 文教マーケティング部)
  
- (2)「高等学校新学習指導要領のポイント:高大接続の観点から」  
大竹芳夫(新潟大学人文社会・教育科学系)

問い合わせ: 大竹芳夫(新潟大学人文社会・教育科学系)  
otakeyo@econ.niigata-u.ac.jp

## 「新潟大学第7回英語教育改革FD」報告書

日時： 平成25年3月13日

午前10時から11時45分まで

場所： 新潟大学総合教育研究棟 B351

新潟大学教育・学生支援機構英語企画部は「ネットワーク型英語学習教材を活用した新たな自律的課外学習支援および高等学校新学習指導要領のポイントについて」と題して、新潟大学第7回英語教育改革FD (Faculty Development) を開催した。参加者は21名であった。司会・進行は大竹芳夫（英語企画部）が務めた。

はじめに平野幸彦（英語企画部長）から、来年度開講予定の英語教育カリキュラム「S. P. A. C. E. (Skills Program for Academic and Content English) プログラム」についての目的・概要および本FDの開催趣旨についての説明があった。

次いで自律的課外英語学習支援の一環として来年度に追加導入するネットワーク型英語学習教材3コース（TOEIC テスト演習2000コース、PowerWords コース・プラス、英文法コース）について、開発元の株式会社アルク教育社担当者から具体的な説明があった。あわせて、評価方法や語彙レベル等に関する質疑応答を通して、新たな自律的課外学習支援内容の理解を深めることができた。

最後に大竹芳夫から、「高等学校新学習指導要領のポイント：高大接続の観点から」と題して、来年度から年次進行で実施される高等学校新学習指導要領のポイントについての解説があった。具体的には、(1) 指導語数の充実：中学校・高等学校6年間で2,200語（旧）→3,000語（新）、(2) 授業を実際のコミュニケーションの場面とするとともに、生徒が英語に触れる機会を充実するために、授業は英語で行うことを基本とすることが明記されている点を確認すると同時に、「コミュニケーション英語Ⅰ」教科書（全社）を参加者が閲覧した。大学英語教育を効果的に行うためには中学校・高等学校の英語教育の動向を絶えず把握するように努めてゆくことが肝要であることを活発な質疑応答と意見交換を通して確認した。